

受領 令和7年11月27日 10時38分

通告番号 (10)

令和7年11月27日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

読谷村議會議員
江田守恭 印

一般質問通告書

第548回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質問要旨	答弁を求める者
<p>1 自治会への支援のあり方について。</p> <p>(1) 自治会員は会費を払い自治会運営や村の運営にも貢献しているが、自治会費を払えずに脱退する人も増えてきている。自治を支える側の生活が揺らいでいる現状をどう捉え、どのような対策を講じていくのか。</p> <p>(2) 自治会加入率が低下する中、地域活性化に向け、エイサー、組踊、伝統芸能、音楽祭、自治会祭り等の開催は、企業の協賛金や寄付金を活用しているが苦しい。行政の資金支援ができないか。</p> <p>(3) 自治会には自主財源の有無で大きな格差があるが、村としてどう捉えているか。</p> <p>(4) 財源の格差を少なくするために、地域振興交付金の配分方法を見直してはどうか。</p> <p>(5) 自治会員の減少や近年の物価高騰を加味しても地域振興交付金を上げる必要があると考えるが。</p> <p>(6) 読谷村が行なっている自治会加入促進の成果は出ているのか。</p>	
<p>2 読谷村の伝統工芸である花織ややちむんの担い手づくりの一環として、小中学校の授業に組み込みことができないか。</p>	